高校生国語現代文　接続語　練習問題　01　解答と解説

本接続語の練習問題です。共テの現代文では（　）に入る接続語を直接問う問題は出題されないと思いますが、接続語をしっかり把握しておくことで、文章を理解しやすくなります。

問題　次の文の（　）に入る接続語を［　　］内から選んで書き入れなさい。（1個10点）

しかし　だから　なぜなら　たとえば　つまり

・もちろん　～　しかし　の副詞の呼応になっている。

1　もちろんシューマンが作った大曲はすばらしい。一曲しかないピアノ協奏曲はオーケストラとピアノの一体感という特徴があるし、演奏時間の三十分を聴き手に飽きさせない。（　しかし　）やはりシューマンの真髄は小曲にあると思うだ。子どもの情景や謝肉祭は全曲通して演奏されることも多いが、一曲ずつは短い。（　つまり　）小曲の集合体であり、その短い一曲の中に凝縮された輝きを込められるのがシューマンの最大の特徴だと思う。・前後で同じような内容なので並列言い換えの　つまり

・たとえば　の後は具体例。

2　現在のアメリカ大統領を「これまでにいなかった破天荒なタイプの大統領だ」と言う人がいる。（　たとえば　）国境に巨大な壁を作るとか、各国からの輸入品に大幅な関税をかけるなどの政策のことから、そのようにを言っているのだろう。（　しかし　）そうした自国第一主義的な政策こそ、いかにもアメリカらしい政策であり、そういう意味では歴代との大統領とそれほど変わらないという人もいる。・破天荒　と　歴代の大統領とそれほど変わらない　は逆なので、逆接が入る、

・チーム内連携　と　ひとりが点数を取る　は逆で、逆接が入る。たしかに　と連携で副詞の呼応。

3　うちのチームは快進撃で準決勝まで進んできた。たしかにしっかりと点は取れているし、チーム内の連携もしっかりとしているので順調のように思える。（　しかし　）データを詳細に分析してみると、イオミ君ひとりが点数を取ることが多く、守備の要も彼である。（　つまり　）エースが攻撃と守備の両方で活躍しているので、この先の彼の出来次第という危うい試合が続くだろう。・（　）の前後で同じような内容なので並列言い換えの　つまり

4　焦点を意識した遠近法も構図もデッサンも、全てを破壊するしかなかった。（なぜなら　）それらの技法はすでに至高の領域にまで究められており、全く違う物を使って創造していくしかなかったからだ。

・（　）の後で理由を述べているので、なぜなら　が入る。

5　私は前評判の高い有力候補のダンスよりも、その後に踊った彼女のダンスが気に入った。速く細かいリズムの箇所なみんなそんなに差がない。（　なぜなら　）練習してきているので全員足捌きが上手だからだ。（　しかし　）ゆったりとしたパートで差がでる。手の振り付けや顔の表情で表現してるつもりのダンサーが多いが、彼女はそうではく、そこでも脚を始めとして体の動きにリズムを感じる。（　だから　）私は彼女に最高点をつけた。

・（　）の後で理由を述べている。

・速く細かいリズムは差がない　と　ゆったりで差が出る　は逆で、逆接が入る。

・（　）の前で理由を述べているので、順接が入る。